

地域 WiMAX の同一周波数中継方式に関する調査検討会

開 催 趣 旨

市町村合併が進み、特に北海道においては、1市町村が県と同程度の面積を有する自治体も少なくなく、市街地ではブロードバンドサービスが提供されていますが、広大な地域に集落や民家が点在している郊外地域の多くではブロードバンドサービスが未だに提供されていない地域が多くあります。このような地域では設置コストなどの採算性の問題から整備が進まない状況にあります。

このような広い地域へ経済的なブロードバンドサービスを提供するために、また光ファイバ等の有線ブロードバンドサービスが提供されている地域でも、地域 WiMAX による同一波中継が実現できれば、移動中の高速通信など、モビリティを活かした多様なサービスが可能となり、周波数の有効利用や採算性の面でも有効なシステムであると考えられています。

しかし、同一周波数による中継では伝送距離や干渉の状況等によっては、ユーザは十分な伝送速度を得ることができないことが想定される等、技術的にクリアされなければならない課題は非常に多いのが実状です。

このような状況を踏まえ、本調査検討会では、デジタル・ディバイドの解消、地域の公共サービスの向上等、地域の公共の福祉の増進を図るための新しいシステムとして制度化された本システムを利用し、同一周波数中継方式（再生方式・非再生方式）について、各分野の専門家の皆様にお集まりいただき、その伝送距離、伝送速度及び電波干渉回避手法等に関して技術的検討を行うとともにその利点を最大限に活かし、採算面でも実現可能なシステム構築を目指します。